



# かみ

議会だより

平成25年  
12月定例会  
第36号



# 文武両道

## — CONTENTS —

- **年頭挨拶** 2
- 補正予算 2 ~ 3
- 住民の声 届くか (12人が一般質問) 7 ~ 12
- この人 ここにあり 16

# あけましておめでとうございます



香美町議会議長  
西坂 秀美

あけましておめでとうございます。町民の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月議長就任以来議会基本条例の施行、会派制の充実、町民の声を聴き行動する議会を目指して取り組んでまいりました。総務民生・産業建設文教両常任委員会では町の直面する大きな課題に取り組み、関係団体との意見交換会、先進地視察等の学びを視察研修報告会で執行部に提言する等、政策実現に結びつける活動をしています。広報公聴常任委員会では町民の皆様からの声を議会だよりに盛り込むため3

区の中に出向いて町民の皆様の声をお聴いています。町民の皆様のご協力をお願いいたします。

会派制も議員16人中11人が所属し研鑽、調査に取り組んでおり、提案能力向上に期待しています。昨年の選挙での争点ともなりました議員定数の見直しにも着手しなければなりません。議員各位のご意見をいただきながら26年度中には結論を出したいと思っております。議会の活性化、より良い町づくりのため努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



## アンケートの取り組みについて

広報公聴常任委員会では、町民の皆様が議会に対してどのように考え、何を望んでいるかなど率直なご意見を伺い、議会だよりの発行や今後の議会活動に役立てるため先の35号発行後に香住区九斗、米地、村岡区光陽、小代区貫田においてアンケートを実施し、広報公聴常任委員が各地区の家を一軒づつ訪問し、アンケート回収をさせていただきました。その際、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。今後も『かみ議会だより』発行ごとにアンケートを行う予定にしております。委員が訪問した際にはアンケートに回答いただくとともにご意見を頂ければ幸いです。今後とも町政、議会に対しご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 補正予算

12月定例議会には、一般会計、国民健康保険事業特別会計、公立香住病院事業企業会計、水道事業企業会計、下水道事業企業会計補正予算の6議案が提案されました。一般会計では事業の確定、長井・余部小学校の耐震化、減債基金の積み増し等多く議論がありました。賛成多数で可決、他の特別会計など5議案は全員賛成で可決しました。質疑の主なものは次のとおりです。

### 一般会計

#### 質疑

問 香住港海岸対策事業費の清掃業務委託料の内容は。また、下浜の分は入っているのか

答 矢田川下流に漂着したガレキ等を集めていますがその集積した物を処理する費用です。下浜分は入っていません。

問 白石島の場所に大きな漂流木があったがこの

処理については

答 ごみ収集費の中の漂着物処理委託料の中で撤去します。

問 港湾管理費の中で海岸美化対策事業費の清掃業務委託料の内容は



年々増加する鳥獣被害

**答** 漂着ゴミの処理です。年間を通して香住海岸を美しくする会の皆さんへ重機等ではできない手作業を委託するものです。

**問** 小学校施設整備事業費設計業務委託料は長井・余部小学校耐震設計と思うが統合と耐震は別のことなのか

**答** 長井・余部小学校の安全・安心が第一であります。統合とは切り離れた耐震化の設計費です。

**問** 有害鳥獣対策費の内

**容説明を**

**答** 捕獲野猪止めさし報償費については本年の猪鹿の有害期間中の頭数の増によるものです。

また有害鳥獣被害対策につきましても、農会を通じまして電気柵等の申し込みを頂きましたが計画予算より減額となりました。

シカ緊急捕獲拡大事業につきましてもは県と一体的に取り組んでいる事業で当初23年度よりスタートしていますが捕獲頭数の減少による減額です。

**問** シカの今後の捕獲対策は

**答** シカの被害は年々増えてきています。これからも県と連携を取りながらこの冬場の駆除においても進めていきます。

**問** 減債基金に9千万円積み増しの考え方は

**答** 過去の実質公債費比率ワースト7を再び踏むことのないようにと考えています。財政運営上の大きな課題のひとつが増加していく起債残高をいかに減少させていくか減らしながら財政的な有効措置をどのように受けるかでありその方法が繰上償還をしたいということです。

**問** 過疎ソフト事業の限度額の考え方は

**答** 本年度の本町に割当てられた限度枠は1億3千20万円です。財政状況により年度毎に若干変わって来ます。過疎ソフトの取りまとめについては5月6日に一次要望をし

ます。全国の要望額を集計しその余裕額があればこの時期に再配分されま

**問** 減債基金に積むことは理解できるが町民の所得向上の考えはないのか

**答** 本年7月に産業団体との意見交換会を行ないました。その懇談の中で

**問** へき地保育事業補助金とは

**答** へき地保育事業があり、事業の目的部分では交通条件自然的文化的等諸条件に恵まれない地域に補助するものです。

**問** 防災行政無線整備事業費の工事請負費減額の内容は

**答** 事業は予定通り進めておりますので変更はありません。今回の減額は事業費の確定によるものです。

**問** 北但ごみ処理施設整

備事業の債務負担行為補正の内容は

**答** 北但行政事務組合の方で実施されています進入道路・敷地造成工事が軟弱地盤であります。その対応により費用の追加となります。

**問** 北但行政事務組合負担金減額の内容は

**答** 組合の平成24年度の決算が確定し繰越金の増額ができましたので市町で負担していた割合に応じて戻すものです。

**一般会計補正に対する修正動議**

提案者 谷口眞治議員

北但ごみ処理施設は住民の同意を得ず用地買収が完了しない平成23年度の段階で工事を着手し、また進入道路は地元との用地買収が完了していただければ必要ない仮説道路であります。敷地造成事業は地権者の同意を得る十分な努力をせずに全国で初めてのゴミ施設用地の強

**討論**

**修正案賛成討論**

山本 賢司議員

ゴミ処理場は場所の変更が不可能ではないものが全国で唯一強制収用にかける事業が行なわれる異常なことが今も続いています。一度立ち止まって私達のゴミは私達で責任を持って処理しようという立場で考えるべきです。

# 条例 5議案を可決しました

町長から提案された延滞金の割合の見直しと消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する3条例及び香美町温泉保養館「おじろん」条例の4議案に議員提案の香美町今日の良き日、日本酒で乾杯条例を加えた5条例案をいずれも可決しました。質疑・討論の要旨は、次のとおりです。



**答** 経済動向によりますが、当分の間、続くのではないかとみています。

## 全員賛成で可決

香美町消費税の税率及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

## 質疑

**問** 消費税増税分を料金等に転嫁して住民に及ぶ影響をどう考えるのか  
**答** 消費税増税による引き上げ分を本町だけが補うことはできません。

**問** どの程度の住民負担増が見込まれるか  
**答** 負担の影響額は試算していませんが、3%分が増えます。

**問** 地方消費税交付金の金額はどうなるのか  
**答** 未確定ですが、今年度予算額1億8千200万円をベースにしますと1億3千万円程度増額が想定されます。

**問** 特例適用の状態は続くことになるか

**問** 町施設の整合性はどうのように図ったか。また、指定管理施設は、管理者に任せるということで整合性が図れるのか  
**答** 例えば、温泉施設については同じ扱い、医療関係の証明書は同じ考え方の下で消費税転嫁をして整合性をとっています。集会所を除いた料金を徴収する全ての施設については、各担当課と管理者が協議を行なっています。

## 討論

**反対討論** 谷口 眞治 議員

町民の暮らしは大変厳しく、消費は落ち込み、商店や中小企業の見通しは一層厳しい。町財政は余裕があり、公共料金を引き上げねばならない財政状況ではない。課税品目でない公共料金に消費税増加分をかぶせる提案に反対する。

**反対討論** 山本 賢司 議員

町の声は、消費税のこれ以上の増税は廃業するしかない。町内の状況は深刻である。このようなときに「様々な影響が見込まれるからのみ込めな」と消費税増税を認めてもいいのか。

## 賛成多数で可決

香美町温泉保養館「おじろん」条例の一部を改正する条例

## 質疑

**問** 町外者の利用料金は

400円だが、現行の条例では600円となっている。整合性はとれているのか  
**答** 条例上は町外者600円ですが、管理規則で温泉の利用促進のため町長が認める場合は、5割を上限に減額できます。そのため400円としています。

## 賛成多数で可決

香美町今日の良き日、乾杯条例

## 質疑

**問** 町としてどう対処するのか  
**答** 優れた但馬杜氏の酒造技術を広く町民に知ってもらい、酒米の栽培技術の普及や地元メーカーの新商品の開発による観光振興などにより但馬杜氏の郷を広く啓蒙したいと考えています。

## 賛成多数で可決

# 契約 小北へき地保育所 無償譲渡へ

村岡小学校耐震補強及び大規模改修工事の請負変更契約を締結すること

平成25年6月20日付けで、請負金額4億8千720万円で締結したが、耐震補強追加工事及び内装工事の変更、シロアリ対策及び家具工事等の追加によるもので、請負金額5億1千571万6千950円に変更するものです。

## 質疑

問 労務単価の見直しについて説明を求め

答 労務単価が15%上がるものとしては、25年度委託契約をしたものが対象となります。具体的には、村岡学校給食センター・射添会館解体改修工事・同駐車場整備・村岡小学校耐震補強及び大規模改修工事が契約変更の対象となります。

すでに、射添会館解体工事及び同駐車場整備に關しては変更契約を行なっていますし、学校給食センターについては変更契約を予定しています。

## 全員賛成で可決

財産の無償譲渡について

旧香美町立小北へき地保育所（小代区）194㎡の建物を（株）田野工務店に無償で譲渡するものです。

## 質疑

問 契約・遊び場・転売の内容について説明を

答 借地である土地に關して地主は売却を望んでいますが、締結後は借り受け者と直接交渉となります。

遊び場については、住民等の要望があることは承知しています。住民の

意見を考慮し、資材置き場には使用せず建物の一部を活用することです。転売については7年間はできないことになっています。建物は社宅として活用いたします。

## 全員賛成で可決

海の文化館において発覚した北前船関連資料の紛失による損害賠償の額を定めることについて

計8点 損害額34万5千円

## 質疑

問 管理不行き届きで紛失したということだが、

該当者及び責任の所在はどうなっているのか  
答 今回の事案は、状況からみて平成11年以前に発生したものと考えますが、時期が定かでないため、担当者及び責任の所在は明確に申し上げることはできません。

問 今後盗難届を出す気があるのか  
答 所有者との話し合い



の上で、損害を補償することです。承いいただき、今日に至っています。したがって紛失届を出す考えはありません。

問 このような物を預かっているのは、観光商工課だけではないと思うが、他の課も含め管理体制は整っているのか  
答 今回の事案に対しては大変申し訳なく思っています。他の課については所管の課長が責任者になっております。町が預かっているという観点からみると、体制は十分とはいえませんが、点検

・調査の上、マニュアルを作成して全課に周知し、今後このようなことが起きないように、体制を構築します。

## 賛成多数で可決

香美町過疎地域自立促進計画を変更することについて

## 質疑

問 町単のこども医療費助成事業に過疎債が適用されるということだが、6月に補正予算を組む時に過疎債の説明がなかったがどうか

答 こども医療費助成については町長の政策として予算化したもので、6月補正時点では、過疎債の限度額1億3千万あたりの限度額すべてを当初予算で配分しておりましたので、一般財源で対応したものです。

問 町単のこども医療費助成事業は7月から実施されているが、すでに実施されているものに対しても全額過疎債が適用されるのか  
答 今回12月補正で補正を編成するにあたって、限度超過分の配分が可能になったというのを聞き、事業項目として追加をしたもので、一般財源相当額全額が制度上は可能ですし、過疎債ソフト分については先行して事業に充当することも可能です。

## 全員賛成で可決

# 請願採択、意見書を提出



**がん対策**  
 〇がん対策・支援に対する請願書について  
 請願者 リレー・フォー・ライフ 但馬実行委員会  
 実行委員長 坂本 初美  
 紹介議員 徳田喜代子  
 がん対策の施策の充実とがん撲滅を求めるものです。6月定例会において総務民生常任委員会付託され、委員会審議により継続審議となっていました。  
 12月10日再度、総務民生常任委員会審議において継続審議とせず、委員会として意見書案を本会議に提出することを委員会全員で可決、12月18日定例会全員賛成で請願を採択し意見書を可決、国・県に提出しました。



**新聞購読料**  
 〇新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について  
 提出者 橋秀太郎議員  
 賛成者 藤井昌彦議員  
 新聞購読料への消費税アップは、活字新聞離れに拍車をかけることになり、新聞購読料への軽減税率の適用を求めるものである。  
**質疑**  
 問 なぜ、新聞購読料のみに軽減税率の適用を求めるのか  
 答 新聞が生活の身近なものであり、低価で広く購読されているからです。  
**賛成多数で可決**

## 消費税

## 意見書否決

## TPP

〇平成26年からの消費税増税の中止を求める意見書の提出について  
 提出者 谷口眞治議員  
 賛成者 山本賢司議員  
 アベノミクスの円安で大手輸出企業中心に収益は上がっているが、賃金や中小企業の下請け単価は上がらない状態であり、国民、町民の暮らしを支援する立場から、平成26年4月からの消費税増税の中止を求めるものである。  
**賛成討論** 山本賢司議員  
 賃金が上がらず物価が上昇し、国民生活が苦しいのに増税は反対である。  
**賛成少数で否決**

〇TPP交渉から即時撤退を求める意見書の提出について  
 提出者 山本賢司議員  
 賛成者 谷口眞治議員  
 食料品の自給率が40%から13%に下がるといふ政府の指針も出ているTPP交渉から即時撤退を求めるものである。  
**賛成討論** 谷口眞治議員  
 関税撤廃、農産物の輸入完全自由化により、日本の米等の食料品の自給率が下がり農業が衰退する。地球規模の食糧不足に拍車をかける。  
**賛成少数で否決**

## 意見書撤回 特定秘密保護法案

〇特定秘密保護法案の廃案を求める意見書の提出について  
 提出者 山本賢司議員  
 賛成者 谷口眞治議員  
 香美町民の基本的な人権を守り、町民が戦争に巻き込まれないよう特定秘密保護法案の廃案を求める。  
 12月2日に提出、即日採決の動議が否決され、16日審議予定となった。しかしながら、特定秘密保護法案が12月6日に参議院にて、可決成立されたため、提出者により、意見書の撤回請求があり、全員賛成で撤回しました。

# 町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月12日と13日に12名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



火災警報器の設置で安全・安心を！

暖房器具を使用する機会が増え、火災発生が多発する時期であり、また、



徳田喜代子 議員

## 住宅用火災警報器の設置状況は 香美町全体の設置率は56%です

阪神大震災、東日本大震災の津波を教訓にした香美町の防火防災対策について2点伺う

①火災警報器の設置は義務づけられて二年がたつが、事業所や家庭の火災警報器や消火器の設置点検及び普及について  
②8月に津波を想定した

訓練が行われたが、避難場所及び経路の整備や住民への周知について

〔町長〕①事業所は適正に設置され、消防設備点検資格者により年2回点検し、消防署へ報告書の提出が義務づけられています。家庭の火災警報器

の設置は香住56%、村岡61%、小代42%です。今後設置に向けて啓蒙活動を行います。②島山など5箇所の高台を津波時の拠点避難地と位置づけ、避難場所への道路を整備しました。津波時避難場所及び海拔マップを入れた防災計画概要版を作成配布して周知を図ります。



危険だ！横断歩道の設置を



寺川 秀志 議員

道の駅「あまるべ」は、平成24年7月8日オープン以来多くの観光客で賑わいを見せている。

しかし、施設に隣接する国道178号線は余部橋梁（空の駅）に訪れる

観光バス・普通車等の車両で混雑するとき、観光客が道路を横切るなどして、大変危険な状況になっている。施設を利用する観光客が危険を回避し、スムーズに移動できるように新たに横断歩道を設置する考えはないか

〔町長〕24年の7月に道の駅、25年5月に空の駅がオープンし、多くの来

場者で賑わっていますので危険回避対策として道路管理者より歩道未設置区間から大型駐車場までの路側帯のグリーンカラー化、香住方面車線に菱形の減速路面表示や減速の注意喚起文字表示等の対策案が示されています。来場者の安全対策は重要ですので横断歩道の設置が困難であれば、安全対策案の早期実現を強く要望します。

## 道の駅「あまるべ」前に横断歩道を 道路管理者に早期実現を要望します



早期着手を望む山陰近畿道佐津IC附近



おいしい魚はわが町の誇り「土曜おさかなまつり」

## 基幹道路の整備促進を図る施策は 国県要望を強化・町民決起促進大会も



見塚 修 議員

基幹道路の早急な整備は町民の安心・安全「命の道」として、町の産業

振興と日常生活に寄与するものである。

- 一、山陰近畿自動車道の
- 下岡豊岡間の早期整備
- 二、香住村岡線の森三谷間と境山田口間の整備
- 三、香美久美浜線の落石崩壊に対する根本対策
- 四、三川下岡線の畑、隼人地内と上岡下岡間の

早期整備

など国県とどのように協議を進め、また町を挙げて町民決起集会をする考えはあるか

町長 基幹道路の早期事業着手・完了は最重要課題と認識しています。その施策として道路団体

組織での国県要望と香美町独自では国・県議員の支援をいただき要望活動を強化します。山陰近畿道の佐津ICから竹野間の早期事業化や香住村岡線、香美久美浜線、三川下岡線の道路整備・安全対策も町民の安心できる町土づくりとして、取り組みます。また、町民の決起促進大会も視野に取り組みます。

## 香美町さかなの日で魚食普及を 新たな取り組みとして考えたい



西川 誠一 議員

香住区では、古くから香住港、柴山港と大きな漁港を持ち、多彩な魚種が水揚げされ、加工品を製造する業者も多く存在する日本有数の町である。そのおいしい魚を一層

普及するためには地元での普及活動が不可欠であると痛感する。

そこで、町内での魚食普及のため「香美町魚食月間」や「香美町さかなの日」を設定し地元から魚食普及をする考えはな

町長 本町では魚食普及の取り組みとして学校給食への地元産の魚の提供、お魚教室の開催、町

内グループが実施する料理教室への魚の提供を行っています。また水産物のPR事業や町外での水産物の販売イベントなどにも支援をしています。「香美町魚食月間」や「香美町さかなの日」の設定には、今後但馬漁協や水産加工協のご意見やご協力をいただきながら新たな魚食普及の取り組みとして考えていきます。





森林を宝の山にしよう!!



地域経済の活性化を目指し!

平成28年3月に朝来市の生野工業団地で県や市、関西電力、県森林組合連



森 利秋 議員

## 森林を宝の山にしよう!! 森林所有者の所得向上をめざします

合会、兵庫みどり公社による官民協働の木質バイオマス発電事業が始まることとなった。事業計画では5kwの発電所と燃料チップを作る工場が併設して建設される。燃料チップは年5万4千トン必要とされている。この発電所が稼働すれば木

**町長** 発電所が稼働す

材チップや間伐材、林地残材等への需要が高まり、森林整備も加速され、森林が宝の山として見直される可能性がある。森林整備や地籍調査、森林を宝の山にするための方策をどう考えるか

ることにより燃料用チップの需要増が見込まれます。間伐材や林地残材を搬出し、資源として有効に活用する体制づくりを推進します。町の実施する地籍調査や森林組合の境界の明確化事業を活用して集団化、団地化を図る事業を活用し、森林所有者の所得向上に向けて対策を講じてまいります。



山森 昭夫 議員

関係団体からも「住宅リフォーム制度」の継続を求めて要望書が出されていると伺っている。町内の絶対多数を占める小零細事業所を取り巻く経営環境は依然として

**町長** 限られた財源の中で事業継続の有無は、補助金の総額、交付方法

から、より町内循環型経済を目指す町内の商店で使える商品券として給付し、従来のプレミアム商品券とあわせて地域の活性化ができればと思います。

## 住宅リフォーム制度の継続を! 来年度予算編成中に判断します

厳しく、目前に迫っている消費税引き上げで致命的打撃を受ける業者も懸念される。

実施期間など総合的に施策との調整を図りながら来年度予算編成期間中に判断したいと考えています。

地域循環型経済社会づくりの視点で町内の事業者支援とリンクさせた内容に整備して「住宅リフォーム制度」を継続する考えはないか

事業継続の場合は、ご提案にありましたように今年度までの現金給付から、より町内循環型経済を目指す町内の商店で使



本当に町事業でできるの？



香住区中央公民館の図書室

## 図書館設置について 図書環境の充実を検討します



橘 秀太郎 議員

現在の町内の図書施設の現状と課題についてどのように考えているか。

また、図書館の建設について現時点で計画がないにしても、将来的に建設の考えがあるかどうか、蔵書検索システムの導入について町長の考えを問う

**町長** 課題としては高齢者や子供達が利用しに

くい、図書選定、専門書等への対応が不十分であること等が挙げられます。図書館建設は財政的にも非常に難しいため、既存公共施設の整備の中で総合的に検討します。蔵書検索システムは費用、期間等調査の上検討します。

**教育長** 図書施設の不分の指摘はもつともですが、教育委員会としては町中を図書館にという考え方で他市町との連携公民館、移動図書館車の利用等により広い町内にも対応しています。まだまだ課題はありますが、図書館の様々な機能も含め検討して参ります。

## 介護サービス後退は許されぬ 要支援者締め出しはしません



山本 賢司 議員

国は社会保障を自立・自助・共助へと国の責任を放棄する方向へ向かっている。国に対して物申すことはしない、と町長は、9月議会では答弁した。介護保険制度で見る

と、要支援者の訪問・通所介護は自治体の事務とする方向であり、平成27年度からの第六期事業計画策定に向けて、平成25年度には、事業者の意向調査を行うとしている。

町は、どう具体化するのか示さないで意向調査が可能なのか。町の事業とされた時、どう対応するのか。専門知識、技術がなくてもやれるのか

**町長** 社会保障改革の理念として、長寿社会の中、国民共通の財産として継承していくため、公助・共助・自助の組み合わせで国と地方が協働し合えるしくみにしようとしており、一定の評価ができ、国に注文はつけません。

介護保険では、町事業になるものについて、要支援者締め出しにならないよう検討します。



村岡で開催しています (写真提供: NPO法人にほんご豊岡あいうえお)



いいところだよ!! また来てね!!

町内へ外国より嫁がれた方・企業研修生等で来られた方々が、日本語の



岸本 正人 議員

## 外国より嫁がれた方々に支援を!! 早速に取り組みます

修得・生活習慣・運転免許の取得・万が一の災害等の対応に苦勞されていると思う。現在豊岡市のNPO法人の方が週2回村岡公民館で教室を開いておられるが、十分でないとするれば町としての手助け、支援を検討すべきと思う。互いを認め合う

多文化共生の考えを持ち皆が仲よくにぎやかな町になる施策を考えるべきではないか

**町長** 外国から嫁がれた大変苦勞なさっておられる現状の中で、日本語も話せない方もおられ、日常生活に不便を感じてい

る方も多いかと思えます。兵庫県内で日本語教室が未設置の市町の6つに入っております。兵庫県や県国際交流協会などのご指導をいただき日本語教室の開設などについて検討したいと思えます。早速に取り組みたいと思えます。



藤井 昌彦 議員

## 交流人口20%増加計画は? 町の勢いムードで達成します

町長は、選挙戦から一貫して町の活力を取り戻す。その第一として、観光産業に力を入れるとしている。交流人口20%増加の進捗状況、数字の具体的な計画表の作成の有無、

計画に対する実績進捗管理及び今後の展望、方策について伺う

**町長** 各種イベントごとに細かい数字を積み上げ増加目標を設定することとは、主催団体がそれぞれ異なり数字の把握が困難であると考えています。しかしながら、選挙戦当時から任期中交流人口20%増加は掲げており、マラソン大会、ウォーキン

グ、夢但馬2014の開催、グラウンドゴルフ、ジオフェスタ、バイクイベント、ジオパーク、JRの重点送客キャンペーン、京阪神の観光情報拠点や但馬牛、松葉方二、美しい山、川、海、温泉スキー場を生かした取り組み等町全体の勢いやムードを高め達成したいと考えております。



美田(棚田)を後世に!



年金投入で出漁。燃料高騰を何とかして!

## 一次産業(農業)の振興策は 関係機関との連携を強化します



西村 伸一 議員

本町の基幹産業とも言われる一次産業の漁業・農業は、高齢化また後継

者不足で、近い将来(五年先)見通しができにくい状況だ。農業において国は2018年度から減反政策の廃止、戸別補償制度の廃止を予定している。その上に平成25年12月には結論が出なかったTPPの問題もある。このように幾多の課題があ

る中、農業の将来をどのように導き農業振興を図るか何う

んでいます。本町では厳しい自然環境の中で日本一の品質を誇る農産物の生産・供給に努力されています。町としては国・県・農協等との連携をより一層図り、農業生産力維持、環境保全機能の向上に努めてまいりたいと考えています。

## アベノミクスの円安に、しっかりと対応を 漁業用燃料・配合飼料価格の高騰に対応します



谷口 眞治 議員

アベノミクスの円安で、農林漁業に深刻な影響が出ている。11月の漁業用燃料がリットル当り102円30銭と、採算ベースのリットル当り60円を大幅に超えた高騰に、漁業

者から何とかしてほしいと悲鳴があがっており、昨年補正した燃料対策の復活を求める声もある。また、輸入配合飼料価格が1トン当り6万7千円と前年比1万円以上上昇している。町長はどう考えているか

**町長** 漁業用燃料の異常な高騰は危機的状況にあります。国はセーフティネットによる燃料補て

ん支援対策と緊急特別対策の上乗せをしており、町として補てん策を9月補正を含めて1千万円予算化しています。昨年の燃料対策の復活は、現セーフティネットに対する助成の方が効果は高いと考え、これ以上の対応はできないのかなと思っております。配合飼料高騰対策としては、価格安定制度の掛金の半分を助成する措置をしています。

## その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
寺川 秀志	1. 平成26年度予算編成について	山本 賢司	1. ごみ処理は町の責任で住民と共に
徳田喜代子	1. 森林再生について問う	藤井 昌彦	1. 健康、介護予防について
西川 誠一	1. 防災対策について問う	西村 伸一	1. 次年度予算策定について
山森 昭夫	1. 防災対策について問う	谷口 眞治	1. 住民要望の実現について 2. ごみ問題について

## 議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名		議員名																
		岸本 正人	藤井 昌彦	見塚 修	徳田喜代子	西谷 尚	山森 昭夫	山本 賢司	谷口 眞治	寺川 秀志	森 利秋	田野 公大	橘 秀太郎	西川 誠一	上田 勝幸	西村 伸一	西坂 秀美	
12月定例会	議案第106号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	-	
	議案第108号	平成25年度香美町一般会計補正予算(第4号)【修正案】	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	-
		平成25年度香美町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-
	議案第116号	香美町消費税の税率及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-
	議案第117号	香美町延滞金の割合の見直し並びに消費税の税率及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-
	議案第118号	香美町温泉保養館「おじろん」条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-
	発議第8号	香美町今日の良き日、日本酒で乾杯条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-
	意見書案第5号	TPP交渉から即時撤退を求める意見書の提出について	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	-
	意見書案第6号	平成26年4月からの消費税増税の中止を求める意見書の提出について	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	-
意見書案第7号	新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	-	

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので-で表示しています。

# 公共交通は現状を探り プロジェクトチームを

## 公共交通を再考する

委員長 西川 誠 一

全国的に、過疎化の進行やマイカーの普及などにより公共交通空白地域の発生や拡大、あるいは運行頻度の減少により利用者の利便性が低下しており大きな課題となっている。

また近年は商店の閉鎖等によりマイカーを持たない高齢者は、『買い物難民』と呼ばれるほど課題が広がっている。近年香美町においても同じ現象が起きている。

そこで、委員会では独自の施策を行っている京都府京丹後市と福井県高浜町を視察研修し、香美町の公共交通を再考しました。

### 200円上限バスで 利用者増加

京都府京丹後市は、今後対策を打たなければ経費が増大するという深刻な状況であったことが、

新たな公共交通体系の導入に拍車をかけたという説明が最初にありました。そのなかで対策には非常に苦勞され、アンケートなどの調査を行い、路線バスを担っている「丹海バス」と提携しどこまで乗っても料金の上限が200円という交通体系が実現したそうです。

そのことにより乗客が増加し市の負担も減少し市民も喜んでいけるとの説明でした。

福井県高浜町では、行きたい時間に行きたい場所までいけるオンデマンドバス「赤ふんバス」を今年度から導入し町民の利便性を向上させる施策がとられています。



住民に愛されています  
丹海バス（上、写真提供：京丹後市）と赤ふんバス（右）

### 「赤ふんバス」で 利便性向上

### 香美町の若者の 意見は

車手配ができるようになったという説明でした。

視察研修終了後、香住青年会議所と香美町若者懇話会の皆さんと公共交通について意見交換をしました。

皆さんからは「町の財政負担を減らすべきだ」

「今後町民の声を聞き、検討したい」「地域ごとのきめ細かなりサーチャが必要だ」「親しみやすいラッピングバスを走らせてはどうか」など貴重な意見を伺いました。

### 視察研修を終えて

委員会ではまとめとして次のように町に提案しました。

地域公共交通の果たす役割はとても大切なものであり「まちづくり」の根幹をなすものであります。福祉医療機関への交通難に加えて、近年商店の減少等による買い物難民も増加しています。

また児童、生徒、学生の通学にも公共交通の体系が町民生活に直結していることは明白です。

香美町においては、ただちに地域の現状を細かく探り、早急なる横断的なプロジェクトチームの立ち上げが必要であると結論づけ、提案しました。

# 森林の利活用に 明確なビジョンを

## 森林の活用と バイオマスについて

委員長 岸 本 正 人

香美町の86%を占める森林の有効活用のヒントを得るべく10月30・31日の二日間岡山県真庭市・西粟倉村・鳥取県智頭町の三ヶ所を視察しました。

### 国内有数の バイオマスタウン

真庭市は、林業の盛んな地域で、年間7万8千トンもの木質副産物を有効活用できるよう林業・木材産業の周辺に産業連

携を構築し、主にバイオマス地域内循環ビジョンをつくりました。(バイオマスタウン構想)

真庭バイオマス集積基地を平成20年に建設し、従来から製造していた木質ペレット・プレーナー屑・チップ・バーク(樹皮)等の安定供給が可能となりました。木質バイオマス発電・バイオマスボイラー・ペレットストーブ等を主に公共施設に

設置し木質バイオマスエネルギー自給率を11・3%(全国平均4%)としています。さらに、平成27年4月に新たに真庭バイオマス発電所(発電能力1万kw 2万2千世帯分)の建設が決定しています。

### 百年の森構想

西粟倉村は、50年まで育った人工林の管理をやめずに村ぐるみみであと50年頑張ろう。そして百年の森に囲まれた上質な田舎を実現していこう。というスローガンのもと行政指導で各所有者をまとめて森林団地設定・長期

6千円相当の地域通貨を支払います。これにより、①森林所有者にもう一度山に希望を持ってもらい森林整備につなげる。②地域通貨を循環させることで商店街の活性化をはかる。

という政策・運動を進めています。買取額6千円と木材業者への販売額2〜3千円との逆ざやが行政補助・ボランティア間伐により充当しています。

町は、森林の利活用に明確なビジョンを示し政策を展開すること。①地籍調査・境界明確化事業の推進加速②集落林業組織の育成支援③朝来市で計画されている間伐材バイオマス発電所の活用。北但西部森林組合の年間1万5千トン供給計画に対応することで間伐・森林整備等を促進すること④公共施設等へのチップボイラー・薪ストーブ等の導入促進⑤事務所・家庭へのペレット・薪ストーブ等の普及促進

### 木の宿場(やど)プロジェクト

智頭町は、軽トラとチェンソーで晩酌を!を掲げて放置材1トン当たり

### 視察研修を終えて

委員会ではまとめとして次のように町に提案しました。

委員会ではまとめとして次のように町に提案しました。



バイオマス発電でエネルギー循環(真庭市 発電所制御室)



町内の買物は“杉小判”で(智頭町 地域通貨)

# いんいんあーん (香住区)

今回は、空手協会の「井上派系東流慶心会香住支部」代表の中澤節男さん(香住区香住在住)にお話を伺いました。



中澤節男さん

## 会の運営費・会費は

年間、4千円(スポーツ保険料・登録費・体育館使用料)です。

## 代表就任はいつから

平成12年から全体の指導を行っています。

## 代表として日常の活動は

私自身も一人の選手として、毎年全国マスターズ空手道大会に出場しており、日々技を磨きながら生徒の指導方法を考えております。

## 代表をするうえでの苦勞や悩みは

以前は、大会準備等で大変苦勞しました。5年程前から気運が高まってきたので保護者もでき、色々

## 会の人数は

小学生14人、中学生8人、高校生2人、一般8人の合計32人です。

な事業に協力して下さり、苦勞が減りました。  
試合地への移動手段はどうされていますか

試合は、年6回ほどあり、移動は保護者同伴で試合会場に行きます。

遠方へはどの辺まで行かれますか

鳥取県内が多いです。



日々の活動を通じて感じることは

成長していく子どもたちの姿がよく分かり、心も体も大きくなったと感じる時が大変うれしく思います。

香美町議会に意見がありましたら

子どもたちは、日々の練習を通して礼儀を学んだり、たくましい心と体を鍛えるために頑張っています。長く続けてもら

## 井上派系東流慶心会香住支部の歩み

当初は林派系東流会でしたが、香住支部を指導されていた井上先生が独立して鳥取県に本部を置き「井上派系東流慶心会」として旗上され、我々も同調して加盟したのが2003年で、今年で10年になります。この10年で選手は、全国中学生大会、全国小学生大会に出場を果たしております。慶心会を結成してから寒中けいこを始め、今年で一年のスタートとして各個人個人が一年間の目標を定め、初練習として寒中けいこを行っております。また年二回程、空手道の演武として、ふるさと祭や町民祭に出場の機会を頂き、それも生徒の成長を飛躍させる一つの場となっております。

えるようにするためにも施設使用料をもっと安くして頂くよう望みます。



## 編集後記

新春のお慶びを申し上げます。昨年(2014年)は議会も改選があり、7名もの新人が議場に立つことになり議会も活性化しています。また、町の公債費比率も19.1%となり、明るい兆しが見えてまいりました。

議会も、議会基本条例施行に基づき、広報公聴常任委員会の取り組みとして、皆様のご意見を議会活動に活かすために昨年の10月より具体的な取り組みを展開いたしております。4月1日より消費税が5%↓8%へと上がります。私達庶民の生活は、まだまだ油断ならないものがあります。町民の生活が少しでも豊かになるように、議会は全力で皆様を支えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 編集発行責任者

### 議長 西坂 秀美

- 副議長 橘 秀太郎  
委員 徳田喜代子  
委員 藤井 昌彦  
委員 西谷 尚  
委員 山森 昭夫  
委員 田野 公大  
委員 西村 伸一

### 広報公聴常任委員会

- 委員 橘 秀太郎  
委員 徳田喜代子  
委員 藤井 昌彦  
委員 西谷 尚  
委員 山森 昭夫  
委員 田野 公大  
委員 西村 伸一